



新年のご挨拶

安芸農業協同組合
代表理事組合長 上野 敏浩

新年あけましておめでとうございます。

平素は組合の事業につきまして、格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、農協をとりまく情勢は政府の「農協改革」によってこれまでにない変革を求められています。この様な中、11月20日に開催された第27回JA広島県大会で、JAグループが最重点として取り組む事項として1.「農業者の所得増大」2.「農業生産の拡大」3.「地域の活性化」が決議されました。

当組合においても、営農・経済事業の機能強化を行い、地域農業の更なる振興に努めなければ、「JA安芸」の存在自体が危ぶまれる状況となっています。

現在、「JA安芸 地域営農ビジョン」を策定中であり、都市近郊の小規模の営農がデメリットでなく消費地に存在している有利な条件を最大限に生かせるよう、都市農業の振興対策に取り組む計画づくりを行っています。

特に、営農指導事業については、マーケットインからの生産対策として、苗の計画的な供給による安定生産の確保や、担い手支援など新たな営農指導体制づくりを行います。

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を図るための5つの戦略としては、1.市場流通戦略、2.インショップ流通戦略、3.ファーマーズマーケット(直売所)流通戦略、4.地域交流戦略、5.高付加価値創造戦略に重点を置いた事業活動により、地域農業の振興を図ります。

また、経済事業については、予約共同購入の充実を図り、資材価格の引き下げと訪問活動を充実させ、生産コストの引き下げにつながるきめ細やかな体制づくりを進めます。

今後とも農家・組合員のご期待に添える「JA安芸」を目指し役職員一丸となり邁進する所存でございますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

春のふれあい大感謝祭2016

新春恒例の「春のふれあい大感謝祭」を2月6、7日にJA安芸本店にて開催いたします。全館大特価商品を多数取り揃えて、みなさまのご来場を心よりお待ちしております。詳しくは各支店・購買窓口までお問い合わせくださいませ。

農業祭開催

今年は9、11月に曇天日が続いたため、病気にかかり出品点数の減少を心配していましたが、11月に各地で農産物品評会が盛大に開催されました。

11月14、15日に阿戸農業祭が阿戸福祉センターで開催され、出品点数207点がありました。

11月28、29日には瀬野川農業祭が畑賀福祉センターで開催され、出品点数276点の出品がありました。野菜を中心に、特産のさといもや切り花、カンキツ類など多様な出品品がありました。同日、熊野町農業祭も熊野町民体育館で開催され、管内最多となる868点の出品がありました。

また、12月5、6日には坂農産物品評会が坂小学校、小屋浦ふれあいセンター両会場で開催され合計327点の出品があり、みかんやはさく等のカンキツ類や特産のサツマイモなど、良質な物が出品されていました。各会場とも午後には農産物の即売会が行われ、好評のうちに終了となりました。



坂町農産物品評会



春菊・水菜立毛品評会

12月22日に安芸区職員とJA安芸営農指導員で立毛品評会を行いました。昨年は雪が降る中行いましたが、今年は暖冬で例年より生育が進み、やや大株となっていました。圃場管理状況や葉型や市場出荷性を審査し、入賞を選びました。

午後には出荷目合わせを行いました。市場の方より、11月以降相場が安値となっていますがJA安芸の春菊などは品質が良いので多数の出荷をお願いしますとのことでした。そして年末出荷に向けて袋詰めや規格等の検討を行いました。

